

●アリの巣に居候するアリヅカムシ



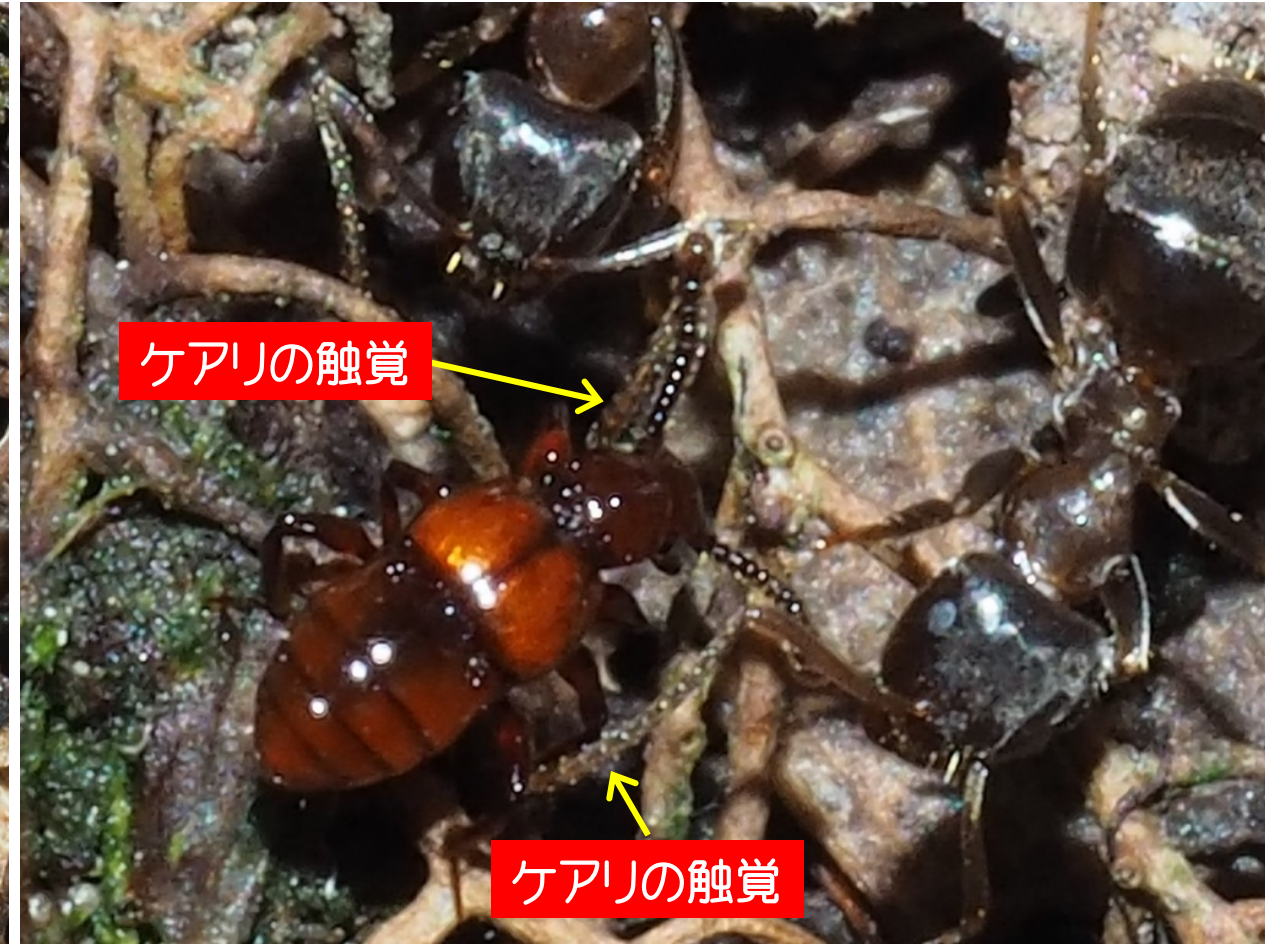
ケアリの巣の出入口付近で、ケアリとは明らかに姿の異なる体長数mmの昆虫を見つけました。巣に出入りするケアリの列に紛れみながら移動していきます。この昆虫こそが、ケアリの巣に居候している「アリヅカムシ」の仲間です。

●アリヅカムシとは？



アリヅカムシは甲虫の一種でハネカクシ科に属します。アリヅカムシの仲間の中にはアリの巣に居候をして生活するものも存在します。アリは非常に獰猛で、異なる種類の昆虫は勿論の事、同種のアリでも異なる巣の住人であれば容赦なく攻撃します。でも、アリヅカムシはアリに近づいても攻撃されません。なぜでしょうか？

●アリヅカムシはなぜアリに襲われないのか？－化学擬態－



ケアリにアリヅカムシが近づくと、アリは触覚でアリヅカムシの体表を撫で回し、仲間であるかどうかを確認します。同じ巣に住むアリ同士は体表のワックス成分や匂い物質などが同じであり、これを触覚で感じ取って仲間であるかを確認します。アリヅカムシは居候先のアリの巣に住むアリと同じワックスや匂い成分を身に纏う事で、アリに仲間であると錯覚させるのです。このような化学物質による擬態の事を「化学擬態」といいます。アリヅカムシとアリは体の構造はいささか異なるものの、同じ化学物質を身に纏う事で、アリに仲間であると思いきませ、獰猛なアリからの攻撃を避けているのです。